

〔長久手町業務評価票：平成16年度業務〕

課係NO・業務NO	- .	総合計画	4 - (3) -	地域文化の発信
担当課・係名	文化の家 事業 係 【問合せ・質問等の先(内線番号) 61-3411 番】			

業務の名称	文化事業					
(1)根拠法令・条例	長久手町文化マスタープラン					
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>50</u> % (系の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>938</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>10</u> 人・日)					
(3)事業費 (人件費分を除く)	<u>60,788</u> 千円(平成16年度決算)					
(4)補助率(補助金がある場合のみ記載)	<u>10.4</u> % (平成16年度実績)					
(5)業務期間	開始した年度	平成10年度	終了(予定)年度	年度		
(6)業務の概要						
業務目的(達成目標)	芸術、娯楽、伝統文化を通して、地域コミュニティや住民の日々の暮らしの中に文化的な潤いや豊かさを生み出すこと。					
業務が対象とする住民(地域、層)	町内外に渡る幅広い層の住民					
業務の具体的な実施内容・方法(平成16年度実績)	長久手町文化マスタープランに基づき、町民、専門家等により組織した企画委員会の企画会議を経て、教養、鑑賞事業、自主創造事業、提携事業、育成事業、交流事業を森のホール・風のホールおよびアートビル館棟を使用し、舞台公演、美術展、映画、講座、ギャラリーコンサート、シンポジウムなどを実施した。					
業務の実施結果(平成16年度実績)	企画会議の内容を検討し、楽団、劇団、作家などの文化芸術団体および芸術家と目的に合致した出演交渉をすることにより、合計124本の文化事業を、7.5名の人員で効率よく行うことができた。全事業に対し、総数22,235名の観客動員と参加者を得ることができた。					
	【業務結果の説明指標】					
	結果の説明指標		15年度	16年度	17年度	22年度
1	舞台系38事業の業務結果 (観客動員数14,166人)			107%		
2	展示系14事業の業務結果 (観覧動員数6,213人)			96%		
3	映像系12事業の業務結果 (観客動員数738人)			71%		
4	アウトリーチ系13事業の業務結果 (参加者数390人)			185%		
5	講座43、その他4事業の業務結果 (参加者728人)			97%		
業務の成果(業務目的の達成状況) (平成16年度実績)	舞台系、展示系、映像系事業の作品内容に対してアンケートを取り、大変良い165%、良い129%、普通5%、悪い11%でした。このようなアンケート結果から選定した作品は、住民に多様な文化事業を提供し満足を得ることができた。講座は、「今後も続けて活動したい」といった意見が多く文化活動の資質を向上することができた。アウトリーチ系事業は、前年度に比べ1.85倍と需要が高く芸術鑑賞の機会を増やすことができた。					
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】					
	成果の説明指標		15年度	16年度	17年度	22年度
1	舞台系事業の業務成果					
2	展示系事業の業務成果					
3	映像系事業の業務成果					
4	アウトリーチ系事業の業務成果					
5	講座、その他事業の業務成果					

(7) 遂行上の問題点、取組課題

業務時間（開館時間9：00～22：00、月曜休館）の制限があり、事業に対し弾力的な対応ができないことがある。
職員異動により、培ったスキルが失われてしまう。

(8) 改善実績（過去3年間の実績）

改善点は特になし

(9) 業務の評価

評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、最適であったか。	3点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して最適であったか。	2点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	4点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	4点
		平均 3.2点

(10) 総合評価

今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none">1. 前年度と同じく、そのまま継続する。2. 見直して継続（業務の拡大）3. 見直して継続（業務の縮小）4. 見直して継続（方法の改善）5. 見直して継続（他業務と統合）6. 廃止する。7. 休止または完了
評価理由	全国の先進文化施設および世論の動向を見極め業務の執行を図り、住民がより参加し易いように改善する。

(11) 今後の改善方針

職員のスキルアップを促すことにより、業務の対応力を高める。
コストパフォーマンスの意識を高める。